

## 講師及び事例発表者プロフィール

## ◇ 基調講演講師 ◇

**松嶋 匡史 氏**  
(まつしま ただし)

株式会社瀬戸内ジャムズガーデン 代表取締役



山口県周防大島在住。

新婚旅行先のパリでジャムに魅了され、平成15年に個人事業としてジャム屋を創業。中部電力株式会社を退職後、周防大島へ完全移住し、農業部を立上げ、カフェ・ギャラリー等を併設したジャム屋として通年営業をスタートさせる。地域資源の柑橘類などを活用したジャムの製造・販売等に取り組み、平成23年法人化。

平成27年、ジャム屋を全面リニューアル。6次産業化優良事例表彰にて農林水産大臣賞も受賞。地域内での連携と経済的循環、雇用と産業の創出に取り組むことで、地域課題の解決と移住者の受入体制の構築に尽力し、書籍「里山資本主義」などでも紹介される。

## ◇ 事例発表者Ⅰ ◇

**阿部 幹司 氏**  
(あべ みきちか)

株式会社花山サンゼット 代表取締役



栗原市在住。

サラリーマン生活を経て保育施設を経営。

東日本大震災を機に「自らを養うものを、自らの手で生み出していこう」と里山への移住を決意。地域おこし協力隊に応募し、花山での生活をスタート。

平成27年、株式会社花山サンゼットを設立。太陽光発電事業・農林業等を通じ、持続可能な地域づくりに取り組む。

地域の先輩移住者として、地域の人的ネットワークや情報を結び付け、移住者にとって暮らしやすい環境づくりに尽力している。

## ◇ 事例発表者Ⅱ ◇

**亀山 貴一 氏**  
(かめやま たかかず)

一般社団法人はまのね 代表理事



石巻市在住。

宮城県水産高等学校教員を経て、東日本大震災を機に、被害の大きかった地元の蛤浜にて「蛤浜再生プロジェクト」を立ち上げる。

人口減少の進展が著しい地元で「人が集まる場をつくりたい」と、平成25年にカフェ「はまぐり堂」をオープン。年間約15,000人の来客を集める。その他、自然体験やセレクトショップ経営など、地域資源を生かした事業を展開する。

平成26年には、「一般社団法人はまのね」を設立。従業員7名を雇用。移住者や交流人口の増加を目指し、プロジェクトの推進を図っている。